

■設計:文芸建築設計事務所

■設計概要

“建築”は 一回の建築行為で完成されるが、相当な寿命を持つ。想定した状況や意図が変わっても一度完成すれば、元に戻すことができないのが建築の独特な作業とも言える。

設計プロセスにおいて繰り返し替えて数多くの代案を作り出して検討し、より現実的な条件を取り出そうと計画すべきで、また施工中でももう一度検討する建築家の姿勢が求められる。

“サラン(愛という意味の純粋な韓国語である)の年違い”ペンションは、このようなプロセスを経て、建築主、施工者との積極的な交感をお互いに持ちながら作られた。充分満足できないこともあるが、初期段階において頭の中で構想していたイメージをある程度実現できたプロジェクトとして評価したい。

建物の位置は、済州市龍潭地域の海岸道路にある市民公園の近くに位置しており、建物の東南側のメインエントランスの方向に空港の滑走路があり、騒音被害を軽減するため、開口部のデザインを重視しようとした。幸いに、北西側には美しい海辺を眺めることができ、建物のボリュームを大きく二つに分けて形の変化と共に外部空間を積極的に内部空間に取り入れようと試みた。

建物の概観は、初期計画段階において建築主が地中海風の様式を望んだが、済州性を試みる意図でメインエントランスの進入道路の両側に済州式の石垣や外部の照明、造形に力を注いだ。